

Q001

道路運送法関係

タグ：運行管理者

用語：自動車運送事業者は、営業所の事業用自動車の台数などに応じて必要な運行管理者を選任し、安全運行を管理する。

次の記述は正しいか。旅客自動車運送事業者は、法令上必要な営業所に運行管理者を選任しなければならない。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q001 正答：○

解説：運行管理者は、点呼、乗務割、勤務管理、指導監督など、運行の安全確保に関する業務を担います。

Q002

道路運送法関係

タグ：運行管理者

用語：自動車運送事業者は、営業所の事業用自動車の台数などに応じて必要な運行管理者を選任し、安全運行を管理する。

運行管理者の役割として最も適切なものはどれか。

- A. 点呼、勤務管理、指導監督などを通じて安全運行を確保する。
- B. 運賃を自由に決定する。
- C. 車両の販売価格を決定する。
- D. 乗客の旅行目的を審査する。

答え・解説

Q002 正答：A. 点呼、勤務管理、指導監督などを通じて安全運行を確保する。

解説：運行管理者は、点呼、乗務割、勤務管理、指導監督など、運行の安全確保に関する業務を担います。

Q003

道路運送法関係

タグ：乗務前点呼

用語：乗務前点呼では、酒気帯びの有無、疾病・疲労・睡眠不足などにより安全運転ができないおそれ、日常点検の実施状況等を確認する。

次の記述は正しいか。乗務前点呼で確認するのは運転免許証だけであり、疲労や睡眠不足は確認対象ではない。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q003 正答：×

解説：乗務前点呼は、運転者と車両が安全に運行できる状態かを確認し、必要な指示を行う重要な手続です。

Q004

道路運送法関係

タグ：乗務前点呼

用語：乗務前点呼では、酒気帯びの有無、疾病・疲労・睡眠不足などにより安全運転ができないおそれ、日常点検の実施状況等を確認する。

乗務前点呼で確認すべき事項として適切なものはどれか。

- A. 運転者の休日の旅行先。
- B. 乗客の氏名一覧。
- C. 車両の購入価格。
- D. 酒気帯び、疾病・疲労・睡眠不足、日常点検の実施状況。

答え・解説

Q004 正答：D. 酒気帯び、疾病・疲労・睡眠不足、日常点検の実施状況。

解説：乗務前点呼は、運転者と車両が安全に運行できる状態かを確認し、必要な指示を行う重要な手続です。

Q005

道路運送法関係

タグ：乗務後点呼

用語：乗務後点呼では、運行した道路や車両の状況、酒気帯びの有無などについて報告を求め、確認する。

次の記述は正しいか。乗務後点呼では、運行した道路や車両の状況について運転者から報告を求める。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q005 正答：○

解説：乗務後点呼は、運行中の異常や道路状況等を把握し、必要な措置や次回の運行に反映するために行います。

Q006

道路運送法関係

タグ：乗務後点呼

用語：乗務後点呼では、運行した道路や車両の状況、酒気帯びの有無などについて報告を求め、確認する。

乗務後点呼の目的として最も適切なものはどれか。

- A. 翌月の運賃を決める。
- B. 乗客の満足度だけを確認する。
- C. 運行状況や車両の異常、酒気帯びの有無などを確認し、次の安全管理に反映する。
- D. 燃料会社を選定する。

答え・解説

Q006 正答：C. 運行状況や車両の異常、酒気帯びの有無などを確認し、次の安全管理に反映する。

解説：乗務後点呼は、運行中の異常や道路状況等を把握し、必要な措置や次回の運行に反映するために行います。

Q007

道路運送法関係

タグ：中間点呼

用語：乗務前・乗務後のいずれも対面等による点呼を行えない運行では、運行途中に電話その他の方法で中間点呼を行う。

次の記述は正しいか。長距離運行で営業所に戻らない場合は、点呼そのものを行わなくてよい。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q007 正答：×

解説：営業所から離れた運行でも安全確認を途切れさせないため、中間点呼を行い、その内容を記録します。

Q008

道路運送法関係

タグ：中間点呼

用語：乗務前・乗務後のいずれも対面等による点呼を行えない運行では、運行途中に電話その他の方法で中間点呼を行う。

中間点呼が必要となる典型的な場面はどれか。

- A. 運転者が予定より早く出勤した場合。
- B. 乗務前・乗務後のいずれも対面等による点呼を行えない運行。
- C. 乗客が一人もいない回送だけの場合。
- D. 車両を洗車した場合。

答え・解説

Q008 正答：B. 乗務前・乗務後のいずれも対面等による点呼を行えない運行。

解説：営業所から離れた運行でも安全確認を途切れさせないため、中間点呼を行い、その内容を記録します。

Q009

道路運送法関係

タグ：アルコール検知器

用語：酒気帯び確認は、運転者の状態を目視等で確認するほか、営業所に備えたアルコール検知器を用いて行う。

次の記述は正しいか。酒気帯びの確認は、目視等による確認とアルコール検知器による確認を組み合わせで行う。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q009 正答：○

解説：酒気帯び確認は機器だけに依存せず、目視等による状態確認も必要です。検知器は常時有効に保持します。

Q010

道路運送法関係

タグ：アルコール検知器

用語：酒気帯び確認は、運転者の状態を目視等で確認するほか、営業所に備えたアルコール検知器を用いて行う。

酒気帯び確認の方法として適切なものはどれか。

- A. 目視等で状態を確認し、営業所のアルコール検知器も使用する。
- B. 運転者の自己申告だけで済ませる。
- C. 前日の確認結果を流用する。
- D. 同僚の印象だけで判断する。

答え・解説

Q010 正答：A. 目視等で状態を確認し、営業所のアルコール検知器も使用する。

解説：酒気帯び確認は機器だけに依存せず、目視等による状態確認も必要です。検知器は常時有効に保持します。

Q011

道路運送法関係

タグ：点呼記録

用語：点呼を行った者・受けた者、車両、日時、方法、確認・指示内容などを記録し、原則として1年間保存する。

次の記述は正しいか。点呼記録は口頭で確認できれば作成する必要がある。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q011 正答：×

解説：点呼記録は安全管理と監査の基礎資料です。必要事項を記録し、法定期間保存します。

Q012

道路運送法関係

タグ：点呼記録

用語：点呼を行った者・受けた者、車両、日時、方法、確認・指示内容などを記録し、原則として1年間保存する。

点呼記録の取扱いとして適切なものはどれか。

- A. 当日中に必ず廃棄する。
- B. 事故が起きた日だけ作成する。
- C. 運転者の記憶だけで管理する。
- D. 必要事項を記録し、原則として1年間保存する。

答え・解説

Q012 正答：D. 必要事項を記録し、原則として1年間保存する。

解説：点呼記録は安全管理と監査の基礎資料です。必要事項を記録し、法定期間保存します。

Q013

道路運送法関係

タグ：業務記録

用語：運転者の氏名、車両、業務の開始・終了地点と日時、主な経過地点、距離、休憩等を業務記録として管理する。

次の記述は正しいか。業務記録には、業務の開始・終了地点と日時、主な経過地点、走行距離などが含まれる。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q013 正答：○

解説：業務記録は、いつ、誰が、どの車両で、どのように運行したかを追跡できるようにする記録です。

Q014

道路運送法関係

タグ：業務記録

用語：運転者の氏名、車両、業務の開始・終了地点と日時、主な経過地点、距離、休憩等を業務記録として管理する。

業務記録の目的として適切なものはどれか。

- A. 乗客の趣味を把握する。
- B. 営業所の広告費を算定する。
- C. 運行実態を把握し、労務管理や事故時の確認、安全改善に活用する。
- D. 車両の中古販売価格を決定する。

答え・解説

Q014 正答：C. 運行実態を把握し、労務管理や事故時の確認、安全改善に活用する。

解説：業務記録は、いつ、誰が、どの車両で、どのように運行したかを追跡できるようにする記録です。

Q015

道路運送法関係

タグ：事故記録

用語：事業用自動車の事故が発生した場合、発生日時・場所、概要、原因、再発防止策等を記録し、営業所で3年間保存する。

次の記述は正しいか。事故が社内で解決した場合は、事故記録を作成する必要はない。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q015 正答：×

解説：事故記録は事実の保存だけでなく、原因分析と再発防止に結び付ける必要があります。

Q016

道路運送法関係

タグ：事故記録

用語：事業用自動車の事故が発生した場合、発生日時・場所、概要、原因、再発防止策等を記録し、営業所で3年間保存する。

事故記録に含めるべき事項として適切なものはどれか。

- A. 運転者の私生活の予定。
- B. 事故の概要、原因、損害の程度、再発防止対策。
- C. 乗客の購買履歴。
- D. 競合会社の運賃。

答え・解説

Q016 正答：B. 事故の概要、原因、損害の程度、再発防止対策。

解説：事故記録は事実の保存だけでなく、原因分析と再発防止に結び付ける必要があります。

Q017

道路運送法関係

タグ：運転者台帳

用語：選任された運転者ごとに運転者台帳を作成し、免許、事故歴、適性診断、指導歴等を管理する。

次の記述は正しいか。運転者台帳は、運転者ごとに作成し、免許や事故歴などを継続的に管理する。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q017 正答：○

解説：個々の運転者に必要な指導や診断を適切に行うため、運転者台帳を個人別に管理します。

Q018

道路運送法関係

タグ：運転者台帳

用語：選任された運転者ごとに運転者台帳を作成し、免許、事故歴、適性診断、指導歴等を管理する。

運転者台帳を作成する主な目的はどれか。

- A. 運転者の資格、事故歴、指導・診断状況等を個人別に把握する。
- B. 乗客の住所を記録する。
- C. 車両の広告デザインを管理する。
- D. 運賃改定の承認を得る。

答え・解説

Q018 正答：A. 運転者の資格、事故歴、指導・診断状況等を個人別に把握する。

解説：個々の運転者に必要な指導や診断を適切に行うため、運転者台帳を個人別に管理します。

Q019

道路運送法関係

タグ：指導監督

用語：運行管理者は、法令遵守、安全運転、危険予測、健康管理等について運転者を継続的に指導・監督する。

次の記述は正しいか。運転者が経験者であれば、法令や安全運転に関する指導監督は不要である。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q019 正答：×

解説：指導監督は、法令知識だけでなく、危険予測、健康管理、緊急時対応など実際の安全行動につなげます。

Q020

道路運送法関係

タグ：指導監督

用語：運行管理者は、法令遵守、安全運転、危険予測、健康管理等について運転者を継続的に指導・監督する。

一般的な指導監督の内容として適切なものはどれか。

- A. 個人投資の方法。
- B. 私用車の購入方法。
- C. 乗客への商品販売方法。
- D. 危険予測、健康管理、事業用自動車の特性、緊急時対応など。

答え・解説

Q020 正答：D. 危険予測、健康管理、事業用自動車の特性、緊急時対応など。

解説：指導監督は、法令知識だけでなく、危険予測、健康管理、緊急時対応など実際の安全行動につなげます。

Q021

道路運送法関係

タグ：適性診断

用語：事故惹起運転者、初任運転者、高齢運転者等には、対象に応じた適性診断と特別な指導を行う。

次の記述は正しいか。高齢運転者や事故惹起運転者等には、対象に応じた適性診断と指導が必要である。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q021 正答：○

解説：適性診断は合否判定ではなく、運転者が自分の特性を理解し、安全運転へ反映するために活用します。

Q022

道路運送法関係

タグ：適性診断

用語：事故惹起運転者、初任運転者、高齢運転者等には、対象に応じた適性診断と特別な指導を行う。

適性診断結果の活用方法として適切なものはどれか。

- A. 運賃を変更する根拠にする。
- B. 乗客数を予測するためだけに使う。
- C. 運転者の特性に応じた安全運転の指導に活用する。
- D. 車両の塗装色を決める。

答え・解説

Q022 正答：C. 運転者の特性に応じた安全運転の指導に活用する。

解説：適性診断は合否判定ではなく、運転者が自分の特性を理解し、安全運転へ反映するために活用します。

Q023

道路運送法関係

タグ：過労防止

用語：事業者と運行管理者は、勤務時間、休息、睡眠、健康状態を把握し、過労運転を防止する乗務割を作成する。

次の記述は正しいか。運転者が希望すれば、休息期間を考慮せず連続して乗務させてもよい。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q023 正答：×

解説：安全運行には、法令と改善基準告示を踏まえた勤務管理と、点呼時の健康状態確認が必要です。

Q024

道路運送法関係

タグ：過労防止

用語：事業者と運行管理者は、勤務時間、休息、睡眠、健康状態を把握し、過労運転を防止する乗務割を作成する。

過労運転を防ぐための対応として適切なものはどれか。

- A. 運転者の自己判断だけに任せる。
- B. 勤務実績、休息、健康状態を確認して無理のない乗務割を組む。
- C. 予約件数を最優先し休息を後回しにする。
- D. 点呼記録を作成しない。

答え・解説

Q024 正答：B. 勤務実績、休息、健康状態を確認して無理のない乗務割を組む。

解説：安全運行には、法令と改善基準告示を踏まえた勤務管理と、点呼時の健康状態確認が必要です。

Q025

道路運送法関係

タグ：睡眠施設

用語：乗務員が有効に利用できるよう、睡眠に必要な施設を適切に管理することは過労防止の一部である。

次の記述は正しいか。睡眠施設は、乗務員が実際に有効利用できる状態に維持する必要がある。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q025 正答：○

解説：休息を形式だけにしないため、睡眠施設は乗務員が有効に利用できる環境に保つ必要があります。

Q026

道路運送法関係

タグ：睡眠施設

用語：乗務員が有効に利用できるよう、睡眠に必要な施設を適切に管理することは過労防止の一部である。

睡眠施設の管理として適切なものはどれか。

- A. 乗務員が必要な休息を取れるよう、利用可能な状態に維持する。
- B. 倉庫として常時使用する。
- C. 運行予定表だけを掲示する。
- D. 乗客専用の待合室としてのみ使用する。

答え・解説

Q026 正答：A. 乗務員が必要な休息を取れるよう、利用可能な状態に維持する。

解説：休息を形式だけにしないため、睡眠施設は乗務員が有効に利用できる環境に保つ必要があります。

Q027

道路運送法関係

タグ：運行指示

用語：長距離・夜間・交替運転等では、経路、休憩、交替地点、連絡方法を明確にした運行指示が重要である。

次の記述は正しいか。長距離運行でも、運転者が経験者なら経路や休憩地点の指示は一切不要である。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q027 正答：×

解説：運行指示は、予測される危険と対応方法を運転者と共有し、異常時の判断を支えるものです。

Q028

道路運送法関係

タグ：運行指示

用語：長距離・夜間・交替運転等では、経路、休憩、交替地点、連絡方法を明確にした運行指示が重要である。

安全な運行指示に含める内容として適切なものはどれか。

- A. 運転者の私用予定。
- B. 乗客への物品販売目標。
- C. 車両の将来売却価格。
- D. 経路、休憩・交替地点、運行上の注意、緊急連絡方法。

答え・解説

Q028 正答：D. 経路、休憩・交替地点、運行上の注意、緊急連絡方法。

解説：運行指示は、予測される危険と対応方法を運転者と共有し、異常時の判断を支えるものです。

Q029

道路運送法関係

タグ：旅客の安全

用語：旅客運送では、乗降時の安全確認、車内事故防止、急操作の抑制、乗客への適切な案内が重要である。

次の記述は正しいか。旅客の乗降中は、ドア付近や周囲の安全を確認してから発進する。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q029 正答：○

解説：旅客の安全は運転操作だけでなく、乗降確認、案内、車内の状況把握を含めて確保します。

Q030

道路運送法関係

タグ：旅客の安全

用語：旅客運送では、乗降時の安全確認、車内事故防止、急操作の抑制、乗客への適切な案内が重要である。

車内事故防止の対応として最も適切なものはどれか。

- A. 遅延時は安全確認を省略する。
- B. 立席客がいても急旋回する。
- C. 乗降・着席状況を確認し、急発進・急制動を避ける。
- D. ドアを閉めながら発進する。

答え・解説

Q030 正答：C. 乗降・着席状況を確認し、急発進・急制動を避ける。

解説：旅客の安全は運転操作だけでなく、乗降確認、案内、車内の状況把握を含めて確保します。